

省エネ・地球温暖化対策実行計画実績報告(令和元年度)

1 はじめに

鳥取県西部広域行政管理組合(以下「本組合」という。)では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「鳥取県西部広域行政管理組合 省エネ・地球温暖化対策実行計画(以下「実行計画」という。)」を策定しています。

この実行計画に基づき、令和元年度の本組合における省エネ達成状況の点検結果をまとめましたので、次のとおり報告いたします。

2 実行計画の削減目標に対する評価

(1) 温室効果ガスの排出量の削減

ア 実績

令和元年度に本組合が排出した温室効果ガスの排出量、基準年度比及び前年度比は、次表のとおりです。

項目	単位	平成 26 年度	平成 30 年度	令和元年度
二酸化炭素総排出量	t	13,311	3,638	2,945

比較	基準年度比(対平成 26 年度)	-78%
	前年度比(対平成 30 年度)	-19%

※ 本計画の対象となる温室効果ガスは、この他にメタン、一酸化二窒素、フロン類がありますが、発生量がわずかであるため省略します。

イ 評価

温室効果ガスの排出量については「前年度より削減することに努める」の目標に対し、**対前年度比で 19%の削減で、目標を達成しています。**

(2) エネルギー原単位の低減

ア 実績

①エネルギー使用量(原油換算量)

令和元年度に本組合が使用したエネルギーの使用量、基準年度比及び前年度比は、次表のとおりです。

施設名	単位	平成 26 年度	平成 30 年度	令和元年度
旧灰溶融施設	k l	1,230	25	19
リサイクルプラザ	k l	280	261	236
浄化場(米子・白浜)	k l	794	504	460
うなばら荘	k l	263	267	252
桜の苑	k l	163	172	174
事務局	k l	18	20	19
消防局・消防署所	k l	289	277	246
エネルギー総使用量	k l	3,037	1,526	1,406

比較	基準年度比(対平成 26 年度)	-54%
	前年度比(対平成 30 年度)	-8%

②基礎数値

令和元年度のエネルギー原単位を算出する際に用いる基礎数値（原単位分母）は、次表のとおりです。

採用区分	施設名	単位	令和元年度
処理量	リサイクルプラザ	t	4,648
	浄化場（米子・白浜）	k l	40,165
延べ床面積	うなばら荘	m ²	2,999
	桜の苑	m ²	1,740
	事務局	m ²	1,295
	消防局・消防署所	m ²	12,232

※ 旧灰溶融施設(エコスラグセンター)は平成 28 年 2 月から稼働を停止しているため、省略しています。

③エネルギー原単位

令和元年度の本組合の各施設のエネルギー原単位、当該年度の各施設のエネルギー原単位の平均値、平均値の基準年度比及び対前年度比は、次表のとおりです。

施設名	単位	平成 26 年度	平成 30 年度	令和元年度
旧灰溶融施設	kl/t	0.280	—	—
リサイクルプラザ	kl/t	0.050	0.054	0.051
浄化場(米子・白浜)	kl/kl	0.018	0.012	0.012
うなばら荘	kl/m ²	0.088	0.089	0.084
桜の苑	kl/m ²	0.094	0.099	0.100
事務局	kl/m ²	0.014	0.015	0.015
消防局・消防署所	kl/m ²	0.025	0.023	0.020
平均 ^{*1}		0.081	0.049	0.047

比較	基準年度比(対平成 26 年度)	−42%
	前年度比(対平成 30 年度)	−4%

イ 評価

エネルギー原単位については「エネルギー消費原単位または電気需要平準化評価原単位を、全体で年平均 1%以上、5 年間で 5%以上低減させる」の目標に対し、令和元年度においては対前年度比で 4%低減、基準年度（平成 26 年度）の 42%の低減となり、目標を達成しています。

(3) 紙使用量の削減・再生紙の購入

ア 実績

令和元年度に本組合で購入した用紙の用紙別購入量、基準年度比及び前年度比は、次表の青色のとおりです。

種 類	単 位	平成 26 年度	平成 30 年度	令和元年度
B5 用紙	枚	5,000	3,000	2,500
B4 用紙	枚	5,303	4,000	3,500
A4 用紙	枚	823,000	935,500	980,517
A3 用紙	枚	92,500	76,000	82,500
合 計	枚	925,803	1,018,500	1,069,017
A4 用紙換算	枚	1,019,000	1,095,000	1,152,000

比 較	基準年度比(対平成 26 年度)	+13%
	前年度比(対平成 30 年度)	+5%

イ 評価

紙使用量の削減・再生紙の購入については「**使用量の削減やグリーン購入法適合商品の選定等に努める**」の目標に対し、**令和元年度においては対前年度比で 5%の増となっております。**

(4) 水道使用量の削減

ア 実績

令和元年度に本組合で使用した水道水の使用量及び対前年度比は、次表の青色のとおりです。

項 目	単 位	平成 26 年度	平成 30 年度	令和元年度
水道使用量	m ³	42,878	30,704	30,438

比 較	基準年度比(対平成 26 年度)	-29%
	前年度比(対平成 30 年度)	-1%

イ 評価

水道使用量の削減については「**節水に努める**」の目標に対し、**令和元年度においては対前年度比で 1%の削減で、目標を達成しています。**

(5) ごみ排出量の削減

ア 実績

令和元年度の本組合の事務ごみの排出量及び対前年度比は、次表の青色のとおりです。

項 目	単 位	平成 26 年度	平成 30 年度	令和元年度
ごみ排出量	kg	47,720	39,902	46,856

比 較	基準年度比(対平成 26 年度)	-2%
	前年度比(対平成 30 年度)	+17%

イ 評価

ごみ排出量の削減については「削減に努める」の目標に対し、令和元年度においては対前年度比で17%の増となりました。

3 まとめ

本組合省エネ・地球温暖化対策実行計画に掲げる削減目標の達成状況について、令和元年度に関しては「2 実行計画の削減目標に対する評価」に記載のとおり、紙使用量及びごみ排出量を除き、削減目標を達成しています。

令和2年度は新たな実行計画（策定期間：～6年度迄）の策定年度ですが、策定に当たっては、省エネ技術の進捗状況や組合内の施設の整備状況、これまでの点検・評価の結果を踏まえ、現計画の見直しを行い、改めて削減目標の設定を行います。

今後も継続して実行計画の目的、計画に掲げる省エネ・地球温暖化対策への取組を確認・実践し、温室効果ガスの排出抑制、環境保全に向けた行動に、積極的に取り組んでいくことといたします。